

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2017年1月）

17年1月メキシコ新車販売は失速し輸出も減速。大手関連企業の投資計画撤回相次ぎ同国自動車産業は前途多難。

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 17年1月メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比4.5%減の年率363万台。内外需が共に減少。
- 1月新車販売台数（季調値）は前月比10.3%減の年率152万台と失速。
- 中国とメキシコ現地資本の事業拡大ニュースで沸き立つほど同国自動車産業は混迷を極めている。

メキシコ投資の方針転換の流れがついに自動車部品メーカーにも見られ始める

メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した2017年1月の総生産台数は、前年同月比4.1%増と8か月連続で前年超えしたが、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）は前月比4.5%減の363万台と減少した。SAARの3か月後方移動平均値でみたトレンドは昨年後半から一進一退の動きが続いており、メキシコ自動車生産に天井感が出ている（図表1）。

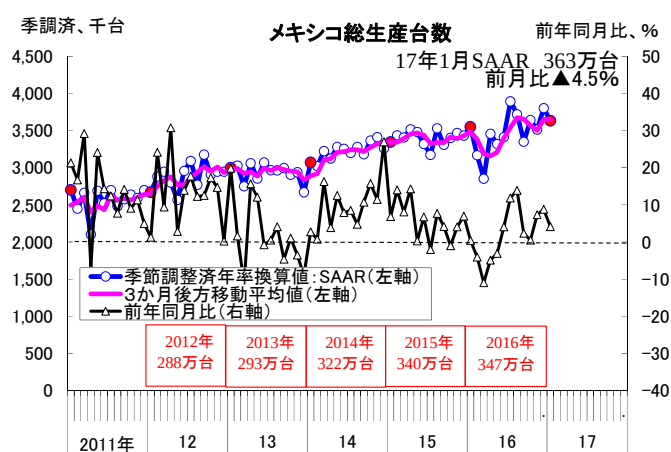
1月の総輸出台数は前年同月比0.7%減と6か月ぶりにマイナスに転じた。輸出台数のSAARも前月比1.5%減の295万台と減少した（図表2）。

メキシコの主要輸出国である米国の1月の新車販売台数（SAAR）は前月比1.1%増の1,805万台（弊社試算）と増加した。もっとも、大手自動車メーカーの販売奨励金が高水準で推移し、競争激化を背景に需要の脆弱性は強まっていることから、全体需要が現在の水準から切り上がると想定するのは困難である（図表3）。米新政権の通商政策に不透明感が漂っているが、それとは別に、米国新車市場の頭打ちがメキシコからの輸出に対する逆風となるため、環境が厳しいことには変わりはない。

メキシコの1月の総販売台数は前年同月比3.0%増と33か月連続で前年超えとなったが、1桁%前半の低調な伸びとなったのは14年6月以来であり、SAARは前月比10.3%減の152万台と失速した（図表4）。国内販売は依然として高水準を維持しているものの、16年後半から一進一退の推移で、浮揚感に乏しい状況が続いている。

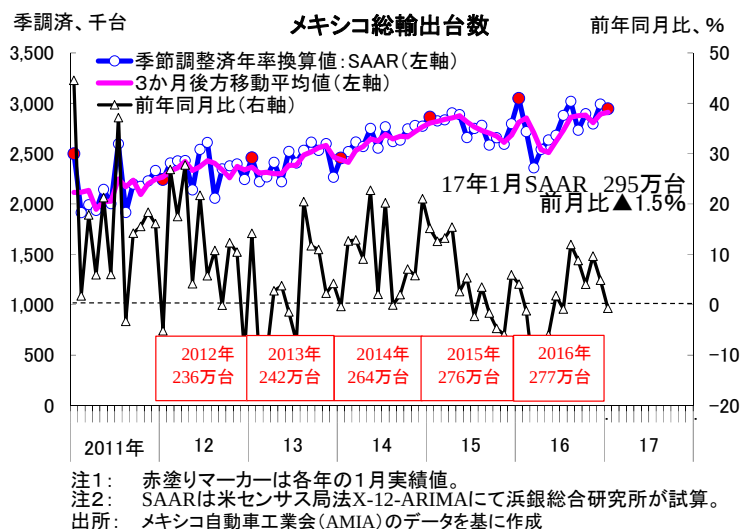
メキシコ自動車産業の前途に影を差す事象が相次いでいる。米フォード・モーターは1月3日、サンルイスボトシ州での小型車生産工場の新設計画を撤回した。2月8日にはブレーキ用摩擦材最大手企業も新工場建設を見送る方針を明らかにし、メキシコ投資の方針転換の流れはいよいよ部品メーカーにも波及し始めている。一方、世界一の富豪で現地自動車メーカーGiant Motorsを所有するメキシコ人事業家カルロス・スリム（Carlos Slim）氏は2月1日、中国の安徽江淮汽車（JAC Motors）と共同でイダルゴ州の完成車工場を拡張する計画を発表した。加えて、2月6日付け米Forbes Mexicoによると、Giant MotorsのCEOは来年にも電気自動車の生産・販売をメキシコで開始すると明かしている。台数規模の小ささから関連企業への影響は軽微だが、このようなニュースが相次ぐほどにメキシコ自動車産業は混迷を極めている。これから新年度予算を策定する日系自動車関連企業においては、少なくともメキシコへの投資を決断できるような状況ではないと言える。

図表1 17年1月生産台数（SAAR）は減少

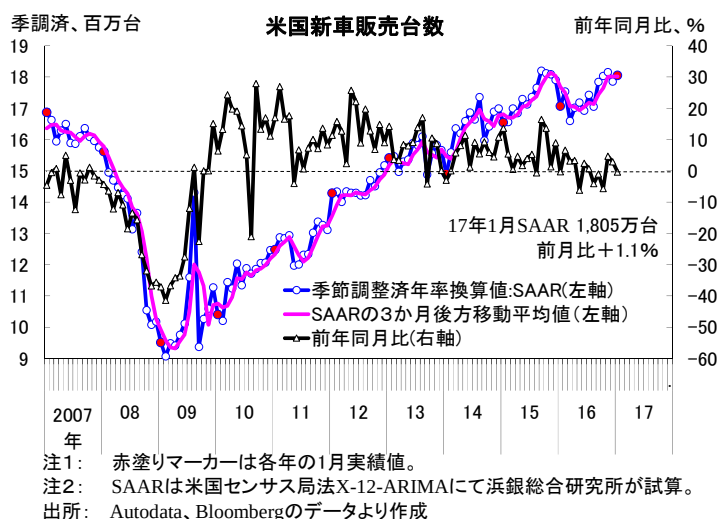


注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

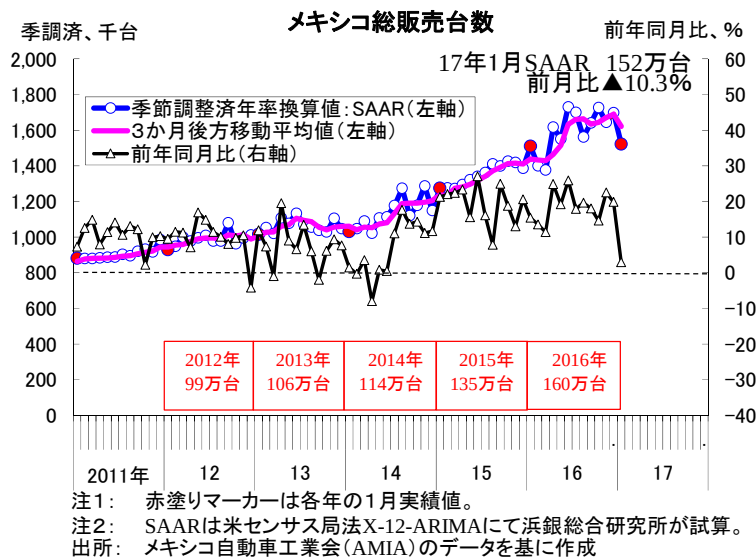
図表2 1月輸出台数（SAAR）が減少



図表3 米国新車販売（SAAR）は増加も楽観できない



図表4 メキシコ国内販売台数（SAAR）は失速



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。